

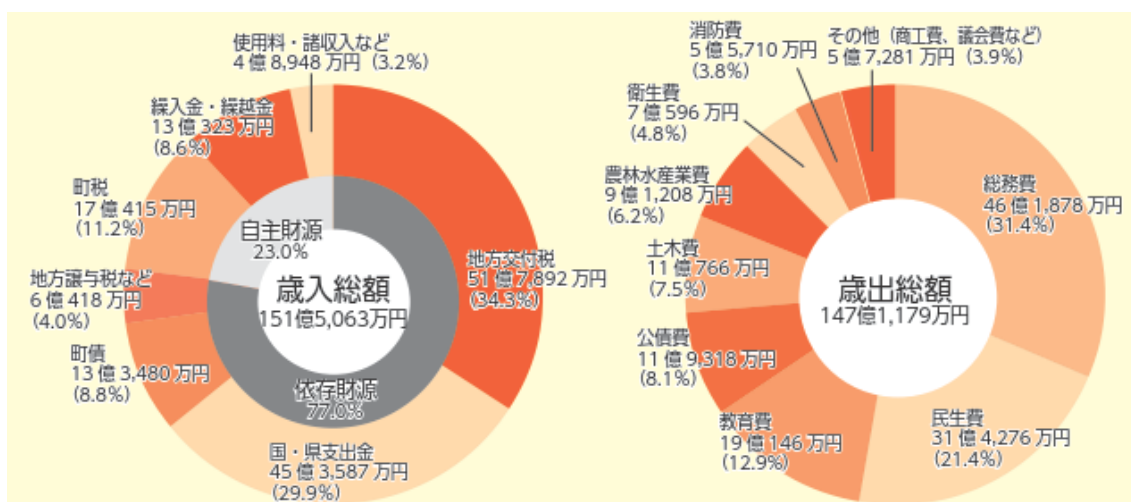
## 令和2年度決算のあらまし

令和2年度一般会計の歳入（収入）は151億5,063万円で、歳出（支出）は147億1,179万円であり、歳入歳出の差し引きは4億3,884万円となりました。

また、ここから令和3年度へ繰り越した事業の財源 3,332万円を差し引いた実質的な収支は、4億552万円の黒字となりました。

令和元年度と比較して、歳入では、特別定額給付金事業費補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などにより国庫支出金が大きく増加、旧高田庁舎の解体及び新鶴こども園整備に伴い町債が増加し、総額で31億6,768万円増加しました。

また、歳出では、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策による特別定額給付金の支給により総務費が大きく増加、新鶴こども園整備事業などにより民生費も増加したため、総額で31億2,424万円増加しました。



### 一般会計決算収支の状況

区分	令和2年度 決算額 (A)	令和元年度 決算額 (A)	増減額 (A)-(B)	増減率
歳入 (ア)	151億5,063万円	119億8,295万円	31億6,768万円	26.4%
歳出 (イ)	147億1,179万円	115億8,755万円	31億2,424万円	27.0%
差引 (ウ) =(ア)-(イ)	4億3,884万円	3億9,540万円	4,344万円	—
翌年度へ繰り越す べき財源 (エ)	3,332万円	4,542万円	△1,210万円	—
実質収支 =(ウ)-(エ)	4億 552万円	3億4,998万円	5,554万円	—

## 特別会計及び公営企業会計の決算状況

特別会計及び公営企業会計は、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理するもので、これらの令和2年度の決算額は次のとおりです。

会計名	歳入合計 (A)	歳出合計 (B)	差引額 (A)-(B)	
国民健康保険	24億5,265万円	22億5,664万円	1億9,601万円	
介護保険	31億 770万円	29億 946万円	1億9,824万円	
後期高齢者医療	2億5,902万円	2億5,858万円	44万円	
工業団地造成事業	2億2,725万円	2億2,663万円	62万円	
住宅用地造成事業	84万円	68万円	16万円	
永井野財産区	18万円	15万円	3万円	
水道事業 (公営企業会計)	収益的収支	4億8,571万円	4億 955万円	7,616万円
	資本的収支	1億1,050万円	2億4,320万円	△1億3,270万円
下水道事業 (公営企業会計)	収益的収支	6億1,051万円	6億 576万円	475万円
	資本的収支	3億2,039万円	4億2,885万円	△1億 846万円

## 町債残高（借入金）の状況

町債とは、主に町民生活の基盤である道路や公園、学校などの長期間にわたって町民の皆様にご利用いただく公共施設を整備するときに、国などから借りるお金のことです。

会計名	令和2年度末 残高	令和元年度末 残高	比較
一般会計	116億1,492万円	114億1,829万円	1億9,663万円
水道事業会計	7億5,944万円	8億5,047万円	△9,103万円
下水道事業会計	35億3,161万円	36億4,394万円	△1億1,233万円
合計	159億 597万円	159億1,270万円	△673万円

※下水道事業会計の令和元年度末残高は、下水道事業、農業集落排水事業及び個別合併処理浄化槽事業の各特別会計の合計となっています。

町民1人当たり残高 約81万円（昨年は約80万円）

（令和3年3月31日現在人口 19,582人）

## 一般会計の積立金（基金）の状況

財政調整基金	43億1,369万円	37億5,009万円	5億6,360万円
減債基金	6億2,534万円	6億2,525万円	9万円
公共施設整備基金	29億1,749万円	29億4,902万円	△3,153万円
国営会津宮川土地改良事業基金	4億7,831万円	6億7,490万円	△1億9,659万円
震災復興基金	2,206万円	2,206万円	0万円
その他基金	6億 465万円	5億7,241万円	3,224万円
合計	89億6,154万円	85億9,373万円	3億6,781万円

町民1人当たり保有額 約46万円（昨年は約43万円）

（令和3年3月31日現在人口 19,582人）

（注）表示単位未満は四捨五入しており、積み上げ額と一致しない場合があります。